

子どもの発達・学力UPの鍵

空間認知能力



「パズルをひっくり返してばかりいる」
「ボールをうまくキャッチできない」
「縄文字をうまく書けない」

こういった課題を抱えるお子さんは
もうしかすると**空間認知能力**の問題を
抱えているかもしれません。

💡 空間認識能力とは？

周りのモノの位置関係・形・大きさ・方向を
正確に把握し、頭の中でイメージを操作する
能力です。

瞬時にイメージできるので、
身体能力が高く、物事や構造
を理解する力が高いという
特徴があります。



将来の**学習能力**や**問題解決能力**に直結する
ことが、多くの研究で示されています。

🚀 なぜ重要？活躍する3つの場面

📖 学習面

- ・ 図形問題（展開図・体積）
- ・ グラフの読み取り
- ・ 漢字・アルファベットを書く



⚽ 運動面

- ・ ボールのキャッチ&スロー
- ・ 縄跳びや鉄棒
- ・ 鬼ごっこでの状況判断



🏠 日常生活と安全

- ・ 整理整頓（空間活用）
- ・ 交通安全（距離感の把握）
- ・ 人との適切な距離感



🧠 科学的根拠に基づく育て方

体を動かす「体験」



頭で考える「思考」



能力の飛躍的アップ！

🟠 体を動かす「体感」遊び



多様なボール遊び：大きさや重さの違うボール
遊具・鬼ごっこ：身体の位置・速度・距離の変化
砂遊び・泥遊び：触覚を通して立体感を理解

🟡 立体を使う「思考」遊び



積み木・ブロック：頭で考えた立体を自由に作る
パズル・タングラム：平面図形を分割・統合・回転
工作・折り紙：手先の巧緻性と空間操作を連動

(参考)

- ・ Spatial ability for STEM domains: Aligning over 50 years of cumulative American Psychological Association data.
- ・ The Spatial Puzzles of Childhood: A Meta-Analysis of Training Studies.

ライター

After Reha 田中 宏樹